

第一弾クラウドファンディングを始めます!!

津波で大破した気仙沼風待ちの 男山本店店舗と千田家住宅を再建・活用し ふるさとの風景や生業を継承したい

6棟の国登録有形文化財のうち、基金や募金で4棟まで再建できましたが、シンボルとなる2棟「男山本店店舗」「千田家住宅」がまだ残っています。長い年月がたった今、皆様のご支援が必要です。ぜひみなさまのお力をお貸しください。

2018年12月20日(木) ~ 2019年3月18日(月)

未来ショッピング(日経経済新聞) <https://shopping.nikkei.co.jp/>

※開始時期が遅れる場合がありますので予めご了承ください



気仙沼風待ちは変化しつつあります この流れにぜひあなたのお力をお貸しください

「風待ち」という小さな港町には、昭和初期に栄え和風洋風多くのモダン建築が建てられました。津波で多くが大破しましたが私たちは(一社)気仙沼風待ち復興検討会を立ち上げ6棟の国登録有形文化財の修復・再建・生業再生を行い復興に役立つことを目指し活動してきました。

所有者の皆さんは、被災後「ここまで壊れたものは撤去した方がよいのでは」「もう商売は辞めよう」と考えた方もあったようです。でも修理の計画ができ、一緒に夢を広げるうちに、やはり昔ながらの店で、また同じ商売をやりたいというお気持ちが大きくなり、前向きになっています。昔あったお店が復活することで地元の皆様も大変喜んでくださっています。オリジナルのイベントを始める店も出てきています。



気仙沼風待ち復興検討会のメンバーでもある歴史的建造物の所有者様より ご協力いただいた方に、風待ちならではの好礼の品をご用意しております ※写真は好礼の一例でイメージです



魚問屋さんからの海藻とお魚セット



お米屋さんで民泊体験



酒造工場見学と試飲



風待ちオリジナルグッズ

気仙沼の風景を映し出すボックススタウン

問い合わせ先

(一社)気仙沼風待ち復興検討会 事務局(担当:三浦・和田) メール:wada@manu.co.jp 電話:03-3816-4037((株)マヌ都市建築研究所)

スペクタクルな修復と地元が開かれた活用

男山本店店舗は国登録有形文化財になった建物ですが、3階建てが津波で流されてきた漁船の衝突により、1、2階が達磨落としのように倒壊し、3階しか残りませんでした。千田家住宅は2階まで津波で浸水し内部は壊滅状態となりましたが被災後、私たちの活動に共鳴し、国登録有形文化財の登録を受けました。



被災前の千田家住宅 写真：気仙沼311 まるごとアーカイブ



被災前の男山本店店舗



人々が集まる場所に —千田家住宅—

千田家住宅は、魚町と南町という二つの繁華街の交差点にあり、多くの人通りが見込めます。千田さんは元テナント業を営んでいました。

千田さんの快い決断で、ここは比較的低价賃で起業したい人と一緒にリノベーションして、オフィス・店舗、まちのサロンやアーティストの創作活動やギャラリーとして開放的な使い方を考えています。気仙沼にいらっしゃる皆様にとっても魅力ある空間になるはずです。

大ばらしをし部材保管中 —男山本店店舗—

男山本店店舗の3階部分は丁寧に「おおばらし」して補修を行い、これを組み立てる予定です。手はかかりますが、津波の襲撃を耐えた壁を後世に伝えたいからです。

1、2階は古写真やわずかな残存部材から科学的に復元し、同じ外観で復元します。工事の最後、復元された1、2階に、修復された3階をクレーンでつり上げ載せて留めつける、というスペクタクルな風景を見ていただけるでしょう。男山本店店舗は角星店舗と並ぶ気仙沼の二大銘酒で創業は1912年。再建後は日本酒を活かした飲食店の活用も考えられているようです。

